



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.3

平成 24 年 4 月 20 日

授業参観を終えて

(文責:後藤 達人)

4月16日(月)に、授業参観とPTA総会を行いました。5限目の授業参観では、家族が見守る中、張り切って学習活動に打ち込む子どもたちの姿が見られました。どの子どもも、いいところを見せようと、よく努力しました。



1年生の国語の学習では、音読を家族の方に聞いてもらうため、後ろ向きで、大きな声で読んでいました。授業参観らしい一コマです。子どもたちのちょっぴり照れた顔と家族の方のうれしそうなお顔が、とても印象に残りました。ほほえましい場面で、幸せな気分になさしてもらいました。



また、4年生では、グループでの詩の朗読発表が行われていました。各グループが工夫したところが、うまく発表に結びついている場面もあり、学び合う姿の一部が見られました。ただ聞くだけではなく、発表者のよいところや工夫したところ、大きな声が出ていた子など、みんなが肯定的な評価をするように指導されていました。



前号でもお伝えしましたように、本年度は、特に子どもたちの間に「学びあい」が成立する授業をめざしています。それは、言語力に裏打ちされた表現力やコミュニケーション力、応用力等の育成に他なりません。今の子どもたちに、もっとも求められている力だと思います。



これからの3回の授業参観で、お子様の学習状況をご覧いただき、学校アンケートの評価等の参考にさせていただ

きたいと思っています。教職員一同、授業改善を共通目標にして、子どもたちの指導に当たる所存でございます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。



コンビネーション(複合)遊具修理完了

昨年度より修理依頼をしていましたコンビネーション遊具の修理が春休み中に完了しました。4月6日の始業式の朝、目ざとく見つけた子どもたちは、もうコンビネーション遊具に夢中でした。



みんなで、楽しく、仲良く遊ぶことのできる大切な遊具です。

天板も柱もさびを落としてきれいになりました。磨り減っていたチェーンも新しくなりました。土台も新しく入れてもらいました。

たかが遊具と思うなかれ。子どもたちの体の発達のためには、なくてはならないものなのです。体をいっぱい使って、健やかに、たくましく育ててほしいと願っています。



あのチューリップ花壇は今…

昨年度のNo.31でお伝えしたチューリップ花壇を覚えておいででしょうか。「きれいにさくので、みまもってください」

と書かれたメッセージの通り、すばらしいチューリップ花壇となりました。

ちょっとした心づかいが、人の気持ちをほぐしてくれます。これからも、

みんなが気持ちよく生活できるように、一人ひとりが心がけていくことが大切だと思います。小さな積み重ねが、「豊かな感性」を育てていきます。



西橋北小学校の自然 ~マツカレハ~

マツやヒマラヤスギの葉を食べます。右の写真は、去年の夏のもので。大きくなった幼虫は、かなり不気味です。金色や銀色に輝き、存在感がたっぷりあります。繭も大きくて、よく目立ちます。そして、何よりもマツカレハの脅威は、毒性でしょう。

子どもの頃、近くの松林から帰宅すると、指がちくちくと痛かゆくなったことを覚えています。幼虫はもちろん、繭も脱皮後の抜け殻も、かぶれます。

産卵後、孵化した幼虫は、樹皮の裏や木の洞、木の根元付近の暖かな所で冬を越します。そのために、昔から松の木には、右の写真のようなコモが巻かれていました。冬の間、幼虫が越冬のために入り込むからです。春先に、焼却することで、退治することができるのです。すばらしい人間の知恵です。左の写真は、早速出現した小さな幼虫です。

